

学習内容報告書 フォーマット

学校名	新潟県立羽茂高等学校
授業者	伊藤 あかね 教諭 鹿野 弘之 教諭

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

佐渡が受けてきた海からの恵みとこれから

1-2. 学年

1 学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な探究の時間、地理歴史、外国語

1-4. 単元の概要

○佐渡の歴史、海の現状を知る

- ・歴史学習：小木地区をはじめとするジオパーク学習、北前船による海上運送の学習を行う。
- ・海洋生物の調査：南佐渡海域に生息する貝を調査する。（※）
- ・海面温度のデータ比較：過去のデータと現在の状況を把握する。（※）
- ・漂着ゴミの状況調査：南佐渡地域に漂着するゴミの状況を確認する。（※）

○豊かな海を未来へ、世界へ

- ・研究者・大学生との交流（※）
- ・佐渡在住の通訳案内士などを講師として招く授業（※ 一部実施）
- ・現地学習会及び発表会（※ 一部実施）
- ・英語ガイド活動と佐渡学（※ 一部実施）

※…新型コロナウイルスによる臨時休業等の影響により実施できなかった内容

1-5. 単元設定の理由・ねらい

佐渡は離島であり、漁業や海運など佐渡に住む人々にとって海は生活と切り離すことができない。本校が実践する「佐渡学」の一部として現在、過去、未来の「海」との結びつきを学び、人口減などの社会問題に直面する故郷佐渡についてその特徴や課題解決の方法について、探究活動をとおして研究し、地域の人々に発表する。生徒が将来的に佐渡の内外で活躍する人材となるように、主体性と共同性を養う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 知識、技能の習得だけではなく、主体的・対話的な体験活動をとおして、協調性と多様性を認める力
- 自分の将来を決定するための、思考力、判断力、表現力
- ICTの活用方法とそれを利用したプレゼンテーション能力

1-7. 単元の展開（全9時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	佐渡国小木民俗博物館を訪問し実際に使用された北前船を見ながら、また、宿根木地区を訪れ現地の人から話を聴き、北前船による交易と町の歴史を学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館の学芸員と宿根木地区に暮らす人から聴いた話を記録に残すよう指導する。</li> <li>/ ガイドの原稿作成を意識した質問ができるか。</li> <li>・記録をもとに事後学習を行うので、記録には自分の感情を入れないように注意させる。</li> <li>・学芸員、地元の方との連携。</li> <li>・記録用にタブレット端末を用いる。</li> </ul>
2	宿根木散策における疑問、興味あること、さらに知りたいと思ったことを調べ、わかったことと自分の考えをA3用紙にまとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の記録をもとに、疑問点を整理させる。</li> <li>/ 資料に適したまとめ方、表現方法を用いているか。</li> <li>・複数の調べ方を用い、事実を確認させる。</li> <li>/ ひとつの情報に対して、複数のメディアを用いて調べ、客観的に事実を確認しているか。</li> <li>・学校の図書館、パソコン（インターネット）を用いる。</li> </ul>
2	ジオガイドから宿根木海岸の成り立ち、大地と町並や人々の生活との関連を学び、それらの情報をもとに英語で観光ガイドを行うとともに、その様子を撮影し、観光ビデオを制作する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決められた時間を守り、簡潔な説明になるように指導する。</li> <li>/ ただ聴くだけではなく、「説明する」という視点で話を聴いているか。</li> <li>・ジオガイド、地元の方との連携。</li> <li>・ALTによる評価。</li> <li>・撮影用にタブレット端末を用いる。</li> </ul>
3	火山活動による地殻変動、隆起によって生まれた天然の入り江が多数存在する尖閣湾を訪れ、その成り立ちを学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐渡島の成り立ちを学ぶ。</li> <li>・成り立ちによる地形の違いを意識させる。</li> <li>/ 様々な地形から、どのような地殻変動が起こったか推測できるか。</li> <li>・ジオガイドとの連携。</li> <li>・記録用にタブレット端末を用いる。</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

英語で宿根木の観光ガイドを行うとともに、その様子を撮影し、観光ビデオを制作する。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>5 時間目</p> <p>○ジオガイドから宿根木海岸の成り立ち、大地と町並や人々の生活との関連を学ぶ / 生徒は何度も見た風景ではあるものの、その成り立ちについては初めて知ったようで、驚きながらも真剣に説明を聴き、メモをとっていた。</p> <p>6 時間目</p> <p>○事前にまとめた情報とジオガイドから得た情報をもとにガイドの原稿をまとめる。 / ジオガイドから聴き取ったことをその場で原稿にまとめるのは大変そうだった。</p> <p>○英語で観光ガイドを行う。 / 生徒自身が楽しんで行っていた。</p> <p>○その様子を撮影し、観光ビデオを制作する。</p> <p>○Google Photo を利用して、遠隔地にいる ALT に見てもらう。（これは後日行った。）</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 1～4 時間目に学んだ知識をどのように活かすか、事前にまとめさせておく。</li><li>・ 観光ガイドとしての知識を身につける</li><li>・ 歴史だけではなく、地理的な成り立ちがわかると、ガイドに深みが出ることを理解させる。 / ただ聴くだけではなく、「説明する」という視点で話を聴いているかどうか、態度から推察する。</li><li>・ 決められた時間を守り、簡潔な説明になるように指導する。</li><li>・ コロナ禍で観光客がいないので、他のグループの生徒を観光客に見立てて行う。</li><li>・ 撮影用にタブレット端末を用いる。</li><li>・ ALT による評価。 ALT の評価は高く、生徒も自信を持ったようだ。</li></ul>

### 3. 今回の活動の自己評価

ほとんどの生徒は、高校に入学する前にも宿根木に行ったことはある。慣れ親しんでいる生徒もいる中で、新たな知識を得て、それらをどのように活用するか注目していたが、生徒はガイドや現地の人説明をいい加減に聴くこともなく、それどころか新たな発見に心を躍らせていたようである。

また、事前に学習していた内容もうまくまとめられており、本時の学習内容も十分に理解してから臨んでいたようである。

本時の活動の注目点は、宿根木海岸の成り立ちを学ぶ地理の学習と、それらをまとめて発表するためのプレゼン能力、そして、英語の表現力を総合的に活用することである。

これらの能力と総合的な活用力は、それぞれの授業だけで身に付けられるものではない。この単元をもって身に付けられるものであって、十分な評価に値するものである。

### 4. 今後の課題

課題としてあげられるのは、事前の準備にかかる時間と事後のまとめの時間が十分に取れなかったことである。

ジオガイドの説明を現地でまとめて、その場でガイドの原稿を作成しなければならず、そのための時間が十分であったとはいえない。宿根木ガイドと現地の人から話を聴くことと、聴いた話をまとめる時間は十分に取れているだけに、バランスが取れていなかった。来年度は、宿根木ガイドと現地の人から、話を聴くこととジオガイドから話を聴くことを同じ日に行えば解決するのではないかと考えている。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特に制限はない。むしろ、どんどんと活用していただき、問題点や改善点をあげてもらいたい。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。